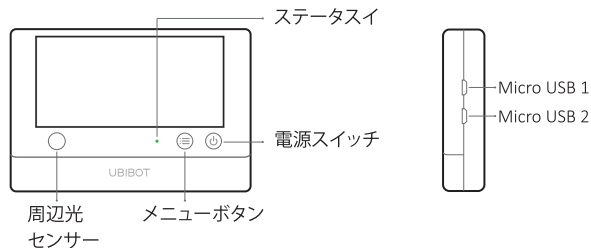


はじめに

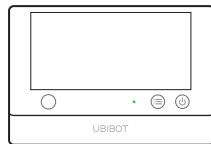
日本語



Micro USB 1
USB電源に使用、外部DS18B20プローブ（追加オプション）、またはPC接続。

Micro USB 2
USB電源に使用、外部DS18B20プローブ（追加オプション）。オプションRS485&*インターフェイス、UbiBot RS485*プローブにも適応。

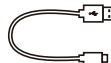
パッケージ



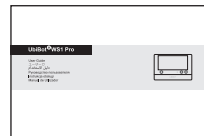
① デバイス



② スタンド



③ 4線 Micro USBケーブル^①



④ ユーザーマニュアル

* 購入したモデルによる。

① 注意、付属の4線ケーブルのみデータ伝送をサポートします。他のケーブルでは、PCツールを接続した場合、機能しない可能性があります。

WS1 PRO の表示画面

日本語



T/H — 内部温度と湿度

E-T — 外部温度と湿度

LIGHT — 定常光

S-T/H — 外部ソイル温度と湿気*

E-T/H — 外部温度と湿度*

WS — 風速*

- USB接続済み
- △88 エラーコード
- SIMインストール済み*
- モバイルデータ強度
- AP デバイス設定モード
- データ送信
- ネットワーク接続 / 障害
- WiFi接続 / 障害
- バッテリー残量

△ スタンダードタイプ1.5AAアルカリ電池4本を基礎にしたバッテリーレベルの計算

* 購入モデルにより異なります。
他質問等がある場合は、現地のテクニカルサポートに連絡をして下さい。

📶 WiFi : 2.4 GHz、チャンネル1～13

🔪 難燃性ABS + PC

🔋 4 x 単三電池 (別売) または Micro USB 電源 (DC 5V / 2A) ①

⚖️ 143 ± 3g、バッテリーを含まない

↕️ 4.96 インチ x 0.88 インチ x 3.38 インチ

🔌 2 x Micro USB (オプションの組み込み RS485 インターフェイス付き) *

💾 内蔵メモリ : 30 万の感知データ

📠 Micro SIM カード (15mm x 12mm x 0.8mm) をサポート *

📡 最大 2 つの DS18B20 温度プローブをサポート (オプションで追加)

① 最適な操作および保管条件 : -20 ~ 60 °C、10 ~ 90 % RH (結露しないこと)

① USB と電池の両方が利用可能な場合、デバイスは優先的に USB 電力を使用します。この場合、4 本の単三電池をソケットの電源が切れた場合の電源のバックアップとして使用できます。充電式電池もサポートされていますが、USB 電源が接続されている場合、デバイスは充電しません。

* 購入したモデルによる。

・スイッチオン

画面の明かりが点灯するまで、電源ボタンを3秒間押し続けます。ボタンを離すと、デバイスがオンになります。

・スイッチオフ

電源ボタンを3秒間押し続けます。インジケータが赤く1回点滅し、デバイスがオフになります。

・デバイス設定モード

デバイスの電源を入れた状態で、メニューボタンを3秒間押し続けます。インジケータが赤と緑に交互に点滅し、APアイコンが画面に表示されたら、ボタンを離します。

・マニュアルデータ同期

デバイスの電源入れたまま、主電源ボタンを押しマニュアルデータ同期を開始して下さい。"データ同期中"の音声ガイダンスが流れます。データが移行されると"同期完了"の音声ガイダンスが案内されます。サーバーとの接続ができない場合は、"同期に失敗しました"の音声ガイダンスが流れます。



重要

デバイスをデフォルトにリセットすると、保存されているすべてのデータが失われます！

データをリセットする前に、感知データをUbiBot IoTプラットフォームに同期するか、コンピュータにエクスポートすることを忘れないでください。

- ・デフォルト設定にリセット

デバイスをオフにします。次に、メニューボタンと電源ボタンを同時に8秒以上押し続けます。インジケータが何度も赤く点滅しているときにボタンを離します。

- ・音声ガイドのオン/オフの切り替え^①

音声ガイドを有効または無効にするには、メニューボタンをすばやく2回続けて押しします。これにより最新の感知データも更新されます。

- ・デバイス画面の摂氏または華氏の切り替え^①

電源ボタンを2回押して、摂氏と華氏の表示を切り替えます。アプリとウェブコンソールの測定値については、アカウント設定ページに移動して温度単位を切り替えてください。

- ・トグルスイッチリーディング

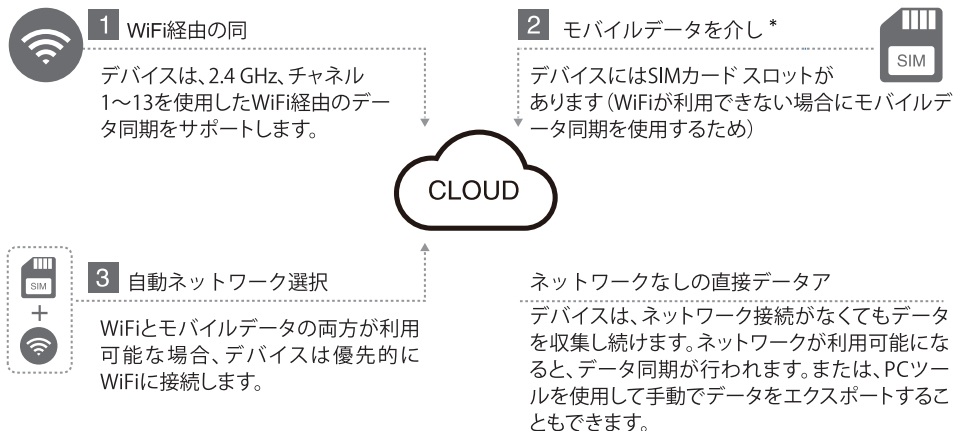
メニューボタンを1度クリックしてセンサー別のリーディング機能を変更します。(購入モデルにより異なります)

* 購入したモデルによる。

① 外部温度プローブが接続されている場合、この機能は無効になる為ご注意ください。

データ同期モード*

日本語



* 購入したモデルによる。

オプション1：モバイルアプリを使用する

アプリを www.ubibot.com/setup からダウンロード

または

App StoreまたはGoogle Playで「UbiBot」を検索してください。



アプリの設定が失敗した場合、携帯電話との互換性が原因の可能性があるので、PCツールを使用することをお勧めします。PCツールは操作がずっと簡単で、MacとWindowsの両方に対応しています。

オプション2：PCツールの使用

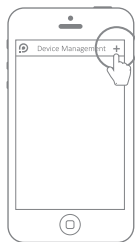
ツールをダウンロードする www.ubibot.com/setup

このツールは、デバイス設定用のデスクトップアプリです。また、設定失敗の理由、MACアドレス、およびオフラインチャートの確認に役立ちます。また、デバイスの内部メモリに保存されているオフラインデータをエクスポートするために使用することもできます。

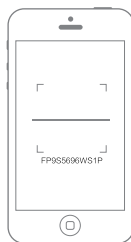
WiFi接続用アプリを使用した設定

日本語

アプリを起動してログインします。ホームページで「+」をタップして、デバイスの追加を開始します。その後アプリ内の指示に従って設定を完了してください。デモンストレーションビデオを www.ubibot.com/setup で見ることもできます (ステップバイステップガイドンス)。



デバイスを追加



QRコードをスキ

△ アプリとWebコンソール (<http://console.ubibot.com>)を使い、センサーの測定値を表示、警報ルール作成、データ同期間隔の設定などのデバイス構成の設定ができます。デモビデオを次のURLで見ることができます、www.ubibot.com/setup。

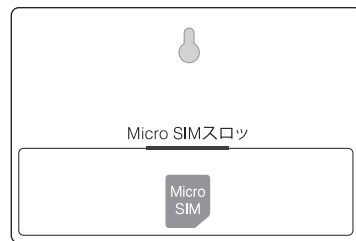
モバイルネットワーク用アプリを使用した設定 *

日本語

モバイルデータでデバイスを設定する前に、UbiBotデバイスで使用するSIMカードのAPN情報を確認してください。

APN(アクセスポイント名)は、デバイスがネットワークオペレーターを通じてモバイルデータに接続するために必要な詳細を提供します。APNの詳細はネットワークごとに異なり、ネットワークオペレーターから取得する必要があります。

デバイスをオフにして、SIMカードを絵のように挿入してください。アプリを起動してログインします。「+」をタップしてデバイスの設定を開始します。アプリ内の指示に従って、設定プロセスを完了してください。データ通信可能量が少ない場合、設定は失敗しますのでご注意ください。

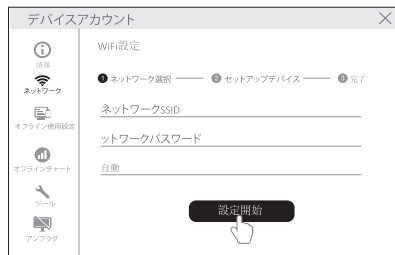


Micro SIMカードをスロットに挿入します

* 購入したモデルによる。

手順 1.

アプリを起動してログインします。デバイスの電源を入れた状態で、付属のMicro USB ケーブルを使用して、デバイスをUSB1経由でコンピュータに接続します。ツールは自動的にデバイスをスキャンしてデバイスページに入ります。



手順 2.

左側のメニューバーで「ネットワーク」をクリックします。そこでWiFiまたはモバイルデータでデバイスを設定します。

1. UbiBotアプリを使用するとデバイスの設定が失敗する（エラーコード04）

設定プロセスに影響を与える可能性のあるいくつかの要因があります。一般的な問題は次のとおりです。

- ① WiFi周波数：デバイスは、2.4 GHzネットワーク、チャンネル1～13にのみ接続できます。
- ② WiFiパスワード：デバイスの設定を再度行って、ネットワークに正しいWiFiパスワードが設定されていることを確認してください。
- ③ WiFiセキュリティタイプ：デバイスは、OPEN、WEP、WPA / WPA2タイプをサポートしています。
- ④ WiFiチャンネル幅：20MHzまたは「自動」に設定されていることを確認してください。
- ⑤ インターネット接続：デバイスのWiFiルーターがインターネットに接続していることを確認します（たとえば、www.ubibot.com に同じWiFiに接続された携帯で試してみる）。
- ⑥ 電池の問題：WiFiは多くの電力を使います。デバイスの電源を入れることはできても、WiFiに十分な電力が供給されていない可能性があります。USB電源を使ってみてください。
- ⑦ 電波強度：WiFiの圏内にいることを確認します。モバイルデータを使用している場合は、信号が良好であることを確認してください。

直接問題を診断するには、PCツールを使用して設定プロセスを実行し、[ツール]-> [デバイスの最終エラーを取得]で応答エラーコードをご連絡ください。これは、リモートでの診断に役立ちます。ソフトウェアは次の場所からダウンロードできます。www.ubibot.com/setup/。

2. データの同期に失敗（エラーコード 02 / 07）

以下を確認してください。

- ① WiFiが機能するための十分なバッテリー電力がデバイスにあることを確認します。WiFiは大量の電力を消費します。デバイスはオンになってはいますが、WiFiに接続できないのかもしれません。デバイスのパフォーマンスを向上させるには、アルカリ電池またはUSB電源を使用することをお勧めします。
- ② モバイルデータを使用している場合は、SIMカードが有効になっていることを確認してください。有効な場合、バッテリーまたはUSB電源接続が2アンペアの電流を供給できることを確認してください。あなたのモバイルデータ通信可能量が残っているか確認してください。
- ③ デバイスのWiFiルーターがインターネットに接続していることを確認します。
（例えば、同じWiFiに接続された携帯電話を使用して www.ubibot.com へアクセスしてみる）

3. ネットワークに接続せずにデバイスを使用できますか？データにアクセスするにはどうすればよいですか？

デバイスはネットワーク接続なしで動作し続け、最大30万件の測定値をメモリに保存できます。リアルタイムの測定値が画面に表示され、次の方法でデータにアクセスできます。

- ① デバイスが接続できるWiFi接続があるエリアにデバイスを移動します。電源ボタンを1回押して、手動でデータ同期を動作させます。同期が完了したら、デバイスを測定場所に戻すことができます（推奨）。
- ② 携帯を使用してインターネット接続共有を有効にします。これは、デバイスのWiFi制限エリアまたは、まったくないエリアに設置されている場合に利用します。
- ③ WindowsノートパソコンとMicro USBケーブルを使用し、デバイスに手動で接続します。PCオフラインツールを使いコンピュータにデータをエクスポートできます。
- ④ モバイルデータカードを使用して設定します*。ネットワークの範囲に入ったら、電源ボタンを1回押すと、すべてのデータがIoTプラットフォームに同期されます。

* 購入したモデルによる。

4. PCツールはデバイスを認識できませんでした

- ① パッケージに同梱されているUSBケーブルを使用しているかどうかを確認してください。他の一部のUSBケーブルは 4線 ではないため、データ伝送ができません。
- ② USBケーブルがオンボードUSB1 (上部ポート) に接続しているかどうかを確認してください。
- ③ ださい。USB2はPC接続をサポートしていません。
スプリッターが接続されている場合は、取り外してください。

5. エラーコード 08：SIMカードが見つかりません

SIMカードが正しく挿入されていることを確認してください。

6. エラーコード 09：モバイルデータネットワークの失敗

SIMカードが正しく設定され、有効になっていることを確認してください。

UbiBotチームは、弊社の製品やサービスについてのご意見をお待ちしております。ご質問やご提案がある場合は、UbiBotアプリで自由にチケットを作成してください。カスタマーサービスの担当者は、24時間対応で、たいてい1時間以内に対応します。ローカライズサービスについては、お住まいの国の販売代理店にお問い合わせください。連絡先を表示するには、弊社のWebサイトにアクセスしてください。

製品のお手入れ

- ☑ このマニュアルに記載されている指示に従ってください。
- ☂ デバイスは防水ではありません。操作、保管、輸送中は水を避けて保管してください。屋外または極限の状態を使用する場合、外部防水プロブの接続について、弊社または販売代理店にお問い合わせください。
- ⊕ デバイスは常に安定した場所に設置してください。
- ⚠ 酸性、酸化性、引火性または爆発性物質から遠ざけてください。
- ⊗ デバイスを取り扱うときは、力を入れすぎないようにしてください。鋭利な器具を使用して開けようとしないでください

1. このデバイスは、最初の購入日から最大1年間、材料および製造上の欠陥がないことを保証されます。この保証は通常の摩耗、誤用、乱用、または不正な修理による損傷は対象外です。この限定保証に基づく請求および保証サービスを受けるには、カスタマーサービスまたは地域の販売代理店に連絡して、製品を梱包して弊社に返送するための方法を聞いてください。

2. 以下の状況は保証の対象外です：

- ① 保証期間終了後のトラブル。自然摩耗や経年変化。
- ② デバイスの不適切な取り扱い、または指示に従わない操作に起因する誤動作または損傷。
- ③ 推奨温湿度範囲外での使用による損傷、水との接触による損傷（水蒸気など制御不能な水の侵入を含む）、デバイスやケーブル、コネクタに過度の力が加わることによる損傷。
- ④ 製品を不正に取り外したことによる故障または損傷。
- ⑤ 当社は製造または設計による欠陥に対してのみ責任を負います。当社は不可抗力または天災によって引き起こされた損害に対する責任を負いません。